様式56の4

内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術

内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）

内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術

内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術

の施設基準に係る

届出書添付書類

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １　届出を行う項目について（該当するものに○印をつける）  ・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術  ・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術 | | | | | |
| ２　標榜診療科（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　科 | | | | | |
| ３　外科、頭頸部外科、耳鼻咽喉科又は内分泌外科について10年以上の経験を有し、区分番号「Ｋ４６１－２」、「Ｋ４６２－２」、「Ｋ４６３－２」又は「Ｋ４６４－２」の手術を術者として実施した経験を有する常勤医師の氏名等 | | | | | |
| 診療科名 | 常勤医師の氏名 | 勤務時間 | 当該診療科の  経験年数 | 区分番号「Ｋ４６１－２」、「Ｋ４６２－２」、又は「Ｋ４６４－２」の手術の術者としての経験症例数（合計） | 区分番号「Ｋ４６３－２」の手術の術者としての経験症例数 |
|  |  | 時間 | 年 | 例 | 例 |
|  |  | 時間 | 年 | 例 | 例 |
|  |  | 時間 | 年 | 例 | 例 |
| ４　緊急手術が可能な体制　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （ 有 ・ 無 ） | | | | | |

　［記載上の注意］

１　「１」については、届出を行う項目に○印をつけること。

２　「３」については、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添２の様式52により添付すること。区分番号「Ｋ４６３－２」の手術の術者としての経験症例数については、内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術の届出を行う場合に記載すること。

３　「３」の常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記載すること。

４　当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。